

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課				
		実施期間	H4 ～	E-mail	toshi-machi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・市町村の景観行政団体への移行を支援することにより、現在までに29の市町村が景観行政団体へ移行しているところであるが、一方で、景観行政団体数が増加するとともに、行政界により景観行政が分断され、統一感のない景観形成が懸念される。

・景観への意識の高まりにより、地域住民による新たな景観育成住民協定が締結され、現在までに176件認定しているが、人口減少や高齢化に伴い景観育成の担い手が不足しており、将来的にさらに加速していくことが予想される。

・再生可能エネルギーの推進による太陽光発電施設の建設、コロナ禍に伴う地方回帰による宅地開発などによる景観の影響が懸念されており、地域と調和した景観の保全・育成が求められる。

2 事業目的

長野県の美しい景観の保全・育成を図ることで美しく風格のある県土を形成し、快適でゆとりのある豊かな暮らしを創造する。

3 事業目的を達成するための取組

①長野県景観育成計画の改定（R5～R7）

・現行の「景観育成計画」を見直し、広域的な視点からの景観形成の仕組みづくりを行うことで、景観行政団体を含め市町村と県が相互が連携し、行政界を超えた県土全体の景観育成を推進する。

・新たな景観阻害要因に対応した景観育成基準の設定、景観育成重点地域の指定により現状に即したきめ細やかな景観誘導を図る。

②市町村の景観行政団体移行支援

・地域主体の景観育成を促進するため、市町村の景観行政団体移行を支援していく。

③眺望点の指定推進及び眺望カードの作成

・地域にとって重要な景観を眺望できる場所を眺望点として指定し、届出制度と紐づけることで地域が守りたい景観を阻害しないよう誘導する。

・小中学校でのまちづくり出前講座などで眺望カードを活用することで、景観保全に対する興味・関心を引き出し、将来の担い手としてのきっかけを創出する。



4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	景観育成重点地域指定数	箇所	4	4	→	4	→	4	—	令和5、6年度における改定作業の中で重点地域に指定するべき地域を検討し、令和7年度に1地域の追加指定を目標として設定。
②	景観行政団体数	市町村	28	28	→	29	↗	29	達成	5年以内（令和8年度まで）に長野県内の市町村のうち40%が景観行政団体へ移行することを目標とし設定。
③	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	箇所	148	160	↗	160	→	173	未達成	眺望点の指定のない市町村（26）の半数以上が1地点を指定することを目標とし設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	14,196	0	14,196	13,857	13,614	2.8
R5年度	0	13,523	0	13,523	13,187	12,762	2.8
R4年度	0	1,781	0	1,781	1,437	1,414	2.8

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課	

7 主な取組実績と成果

①長野県景観育成計画の改定（R5～R7）

- ・景観審議会専門委員会を 3 回開催し、長野県景観育成計画の改定へ向けた議論を深めた。
- ・景観審議会を 1 回開催し、検討状況について説明を行った。
- ・景観行政団体を訪問し、長野県景観育成ビジョンの策定及び広域景観アセスメント制度の検討状況について説明を行った。
- ・全市町村を対象に、広域景観エリア毎で景観育成に係る意見交換を 2 回実施した。



（諏訪）

広域景観エリアの意見交換会の様子

②市町村の景観行政団体移行支援

- ・景観行政団体へ移行する取組を進めている市町村からの相談に対し助言等を随時行った。

③眺望点の指定推進及び眺望カードの作成

- ・景観育成計画改定へ向けた検討が続いていることから、令和 6 年度は市町村からの新たな眺望点の指定照会を実施しなかった。
- ・眺望カードについて、配布先における在庫状況の確認を取りながら、10,000枚の増刷を行った。
- ・小学校で景観育成の普及啓発を図るため、眺望カードを活用した出前講座を 7 校で行った。



小学校への出前講座の様子
（飯山市立城北中学校）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	景観育成重点地域指定数	R5年度推移	→	R6年度推移	→	達成状況	—
景観育成計画改定の検討にあたり、景観育成重点地域の追加候補地の検討を行った。							
指標 ②	景観行政団体数	R5年度推移	→	R6年度推移	↗	達成状況	達成
1 の自治体（長和町）が、新たに景観行政団体へ移行となった。							
指標 ③	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	未達成
長野県全域をカバーすることを目的に眺望点の指定を進めているが、景観行政に対して注力している市町村については概ね指定が済みであり、新規申請は減少傾向にある。令和 6 年度は景観育成計画改定へ向けた検討が続いていることから、市町村からの新たな眺望点の指定照会を実施しなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題	
・景観育成計画の改定については、景観行政団体や市町村の意見を踏まえた内容となるよう引き続き調整していく必要がある。 ・市町村の景観行政団体移行支援については、市町村が計画内容の充実等に時間を割けるよう、相談に対してよりきめ細やかなサポートを行っていく必要がある。 ・眺望点の指定推進については、景観行政の重要性や制度の仕組み等に対する理解が得られていないことが課題となるため、新たに策定するビジョン等の周知を図りながら市町村の理解が得られるように進めていく。 ・眺望カードの作成については、発行したカードをより活用できるような機会を創出していく必要がある。	
(2) 事業改善の方策	
・景観育成計画の改定については、新たに策定する景観育成ビジョン等の概要を市町村等へ丁寧に説明するとともに、各市町村における景観育成の考えを踏まえたものとなるように、意見照会やパブリックコメントを実施しながら進めていく。 ・市町村の景観行政団体移行支援については、長野県景観育成計画改定に合わせ、景観計画策定等の内容検討に際し連携を強化していく。 ・眺望点の指定推進については、広域景観アセスメント制度の創設に伴う特別眺望点の設定と合わせ広域的視点から新たな眺望点の掘り起こしを行っていく。 ・眺望カードについては、ニーズを調査しながら過去に作成したカードの増刷を行い、各建設事務所等と連携しメインターゲットとなる若い世代の景観に対する興味・関心を得られるよう活用していく。	

事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
-----	---------	----	-----	-----	-----------

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	住宅総務費（景観審議会）		340 千円	505 千円	722 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県景観審議会の開催	直接	長野県景観育成計画の改定などの景観行政に関する内容についての審議 審議会開催回数：1回、専門委員会開催回数：3回		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	景観保全事業		71 千円	11,791 千円	12,417 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県景観育成計画改定事業	委託	・景観育成住民協定者アンケート、県民来県者アンケート ・市町村における景観育成に関する調査 ・広域景観エリアにおける意見交換会及び景観育成方針の検討、 長野県景観育成計画改定（条例改正項目の検討、景観育成基準の検討） 計画改定に向けた検討の実施		
2	屋外広告物講習会	直接	屋外広告業に関する法定講習会の開催 開催回数：1回		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	風景育成事業		1,003 千円	466 千円	475 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域景観協議会運営事業	直接	地域景観協議会による景観育成の推進 眺望カードの作成 カードの増刷：10,000枚		
2	景観育成住民協定認定事業	直接	住民協定の活動について随時相談受付 新たな住民協定について随時認定 相談・問い合わせ対応：2町		
3	信州の美しい景観の魅力発信事業	委託	ホームページ（ふるさと信州風景百選、信州の歴史的まちなみ）の運用保守 信州の景観に関するコンテンツによる情報発信		